平成　22　年　　12月　補正予算要求事業調書

1　予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)	区分		
8	心身障害者福祉手当給付事業	新規	拡大	(継続)

会計区分	款	項	目	所管
一般会計	3	2	2	保健福祉局　福祉部　障害福祉課

事務事業の位置付け

しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名	
根拠法令・条例・規則等	さいたま市心身障害者福祉手当支給条例			

予算要求事業の概要

内容

在宅の障害者に手当を支給し、福祉の増進に寄与する制度です。
対象者は以下の通り
身障手帳１・２級、療育手帳Ⓐ・Ａ、精神手帳１級、重度心身障害児(月額5,000円／県補助1/2)
療育手帳Ｂ、国の手当を併給する重度心身障害者(月額5,000円／全額市単)
年齢(高齢)制限により県の補助対象外となった者(月額5,000円／全額市単)
身障手帳３級、療育手帳Ｃ、精神手帳２級(月額2,500円／全額市単)
ただし、障害者本人に市区町村民税課税相当の所得がある場合、又は、平成22年以降に65歳以上で障害者手帳を取得したもので、重度要介護高齢者手当を受給しているものは支給停止とします。

目的・目標

<目的>
在宅の心身障害者に心身障害者福祉手当を支給することにより、福祉の増進を図ることを目的とする。なお、障害者本人に課税相当の所得がある場合は、支給を停止することとしています。

<目標(平成21年度末)>
平成22年１月に行った支給見直し分も含め、引き続き対象者に支給していきます。
補助金の一方的削減見直しについては、行わないよう県に要望していきます。

現状と課題

<現状(平成21年度末)>
平成21年度の支給件数は、延べ184,604件、支給額は、800,330,000円。
その内、県補助対象の手当が116,203件、581,015,000円、市単独手当の重度(5,000円)が19,325件、96,625,000円、軽度(2,500円)が49,076件、122,690,000円。

<課題>
埼玉県が、平成22年１月より年齢による補助金制限を課したため、市の一般財源分が増えています。手帳の取得者の状況から、今後、一般財源部分は増加傾向にあります。
他の手当との併給制限が絡み合い、制度が複雑化しています。
所得制限の廃止の要望、年齢による併給制限の廃止の要望があります。

今後のスケジュール

在宅の障害者の生活支援に必要であるため、継続します。
支払は年２回(９月、３月)。

2　補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	受給者の人数から想定される支給額が予算を上回っており、平成23年３月18日支払い予定の支給分が執行できません。
	実施義務	
	他市の実施状況	政令市：12市　(川崎市、相模原市、千葉市、新潟市、静岡市、浜松市等) 県内他市：県内全市町村実施
効果	対象者	在宅で非課税の障害者(身体・知的・精神)
	効果	低所得の障害者に対し、経済的、精神的支援を行う。

3　当初予算と補正予算要求の内容

(単位：千円)

	区分	金額	備考
平成22年度	当初予算	872,321	<積算内訳> １　支給通知書等印刷　525 ２　封入封緘等委託　596 ３　扶助費 (１)　県補助対象　529,200 (２)　市単5,000円　84,000 (３)　市単2,500円　117,000 (４)　精神１級　30,000 (５)　精神２級　96,000 (６)　県補助削減分　15,000
	財源内訳		
	①　県支出金	279,600	
	②　一般財源	592,721	
12月補正予算	補正予算要求	33,000	<積算内訳> １　扶助費
	財源内訳		
	①　県支出金	9,150	
	②　一般財源	23,850	
			・県補助金　補助率　１／２
	財政局長査定	33,000	<査定内容> １　扶助費
	財源内訳		
	①　県支出金	9,150	
	②　一般財源	23,850	

<参考>　(単位：千円)

	扶助費			
	県補助5,000円	市単独5,000円	市単独2,500円	合　計
平成20年度決算	562,860	91,175	104,267	758,302
平成21年度決算	581,015	96,625	122,690	800,330
平成22年度当初予算	559,200	99,000	213,000	871,200
平成22年度決算見込	577,500	101,200	225,500	904,200
平成22年度補正額	18,300	2,200	12,500	33,000

・県補助金　補助率　１／２

<査定理由>
心身障害者福祉手当の支給に係る扶助費を支給するために必要な経費と判断し、12月補正予算に計上することとしました。

	市長査定	33,000
	財源内訳	
	①　県支出金	9,150
	②　一般財源	23,850

<査定内容>
１　扶助費

<参考>　(単位：千円)

	扶助費			
	県補助5,000円	市単独5,000円	市単独2,500円	合　計
平成20年度決算	562,860	91,175	104,267	758,302
平成21年度決算	581,015	96,625	122,690	800,330
平成22年度当初予算	559,200	99,000	213,000	871,200
平成22年度決算見込	577,500	101,200	225,500	904,200
平成22年度補正額	18,300	2,200	12,500	33,000

・県補助金　補助率　１／２

<査定理由>
財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。